

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 4年 1月 12日

事業所名 寺子屋アップルキッズ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			基準以上のスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切である		4		基準以上の人員を確保している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			段差がない設定にし、バリアフリー化をしている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			職員に周知している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			毎年実施している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		現在はあまり取り入れていないが、その代わりに職員同士での会議を密に行い、業務改善につなげている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			機会があれば研修に参加している。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			送迎時や要望があれば面談などを行い、ニーズに合わせて計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			標準化されたアセスメントツールは使用していないが、毎日の会議で状況を把握している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1		チームで行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			利用者のニーズに合わせてプログラムを日々考慮している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1		それぞれに応じた支援をしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			ニーズに合わせて計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		4		支援開始前や支援終了後に会議をしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	3		送迎に出るスタッフもいるため、全員で会議を行うことが難しい場合もある。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			支援終了後に記録をとるように徹底している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			現在も似たようなリングはあまり行っていないが、その代わりに会議を密に行うことで美那雄牛の必要性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	1		さまざまな活動を組み合わせている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			その通りにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			長期休暇時など予定の変更がある場合などがあるため、連絡調整を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4			連絡体制を整えている。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1		3	必要があれば行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4			必要があれば行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1	1	研修などの機会があれば、積極的に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		2	2	要望があれば行う。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2		2	要望があれば行う。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			送迎時やノートなどを利用して行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4			送迎時などを利用して行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			契約時に必ず行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			送迎時やノート、面談などを通して行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	2	要望があれば行う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			苦情が出た場合には、会議を開き迅速かつ適切な対応を心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			定期的に会報等は作成していないが、送迎時やノートなどを利用して発信している。
	35	個人情報に十分注意している	4			契約時に必ず説明し、職員にも周知してある。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			要望があれば行う。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2		2	要望があれば行う。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			契約時に必ず行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1		年に1回必ず行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			研修の機会があれば参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4			身体拘束が必要な利用者がいないため、現在はあえて行っていないが、必要性が出てきた場合に取り入れる。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2		必ず行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			作成している。